



vol. 47(平成 16 年 07 月 09 日発行)

有料職業紹介 つしま紹介所 (0567)26-1281
訪問介護 ナイス・ケア (0567)26-3699
通所介護 ナイス・デイ (0567)26-1282
宅老&託児 ナイス・ホーム (0567)26-1282
E-mail info@s-o-s.co.jp
ホームページ http://www.s-o-s.co.jp
(有)サポート・ワン・サービス 愛知県津島市愛宕町4-113 〒496-0036
代表TEL:(0567)26-3921/FAX:(0567)26-3922

今年☆初☆



玉のスイカをテーブル上で切り分けてみんなで食べたよ♪

ナイス・デイから徒歩約10分。コメダ珈琲は行き付けの喫茶店。午後から出かけることが多いけど、たまにモーニングにも出かけます。店員さんにもスツカリ顔なじみです。

コメダ珈琲



利用者さんの顔ぶれは先月とほぼ変わらず。みんな体調を崩さず、いつも通りに通っています。

デイ・サービス利用状況(定期利用者数)

Table with 8 columns: 月, 火, 水, 木, 金, 土, 日 and 8 rows of user counts.

ナイスな勉強会・・・「実習生」

ナイス・ケアとナイス・デイでは、日頃からヘルパー2級の実習生を受け入れています。実習生が同行することで、利用者さんに不快な思いをさせてしまうこともあるかと思いますが、将来のヘルパー育成のためと考え、何卒ご理解ください。

今回は、スタッフが実習生を連れてお伺いする際の心がまえや、デイサービスで実際に利用者さんたちと関わってもらうなかでの基本的な心得を再確認することにしました。

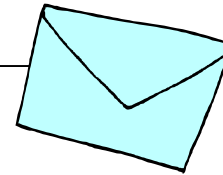
そして、自分がもし利用者だったら・・・。人の家にきて色々なものをジロジロと見てメモを取られたくない。家の事情を細かく知られたくない。「また来ますのでお願いします」って言われても、いったい何時来るつもりよ? いつもきているヘルパーにすら触らせてないものに勝手に手をださないでほしい。物を壊して平気な顔で「あ～、すみません」っていわれても・・・。実習生の身の上話をきかされてもねえ。等々。

実際に同行した実習生に困ってしまうこともチラホラあるので、この話題には皆が雄弁になりました。私達としては、どんな実習生にもヘルパーとして働く時に「あそこで実習して本当によかった」と思ってもらえるような実習(勉強)をしてもらいたいと考えています。

もし、「実習生を連れてくるなら に気を付けてね・・・!」などの意見がありましたらご一報下さい。

次回のテーマ・・・「外出同行」

我が家の介護便り 第7通



お詫び: 先月号の便りは第6通です。

「佳恵、あんた丁度良いところに帰ってきたわ! お父ちゃんのヒゲソリやったってえ〜!!」 「ほ〜い♪」

猛暑続きなので、大のお風呂嫌いのお父ちゃんでも毎日お風呂に入ってサッパリしたい様子。湯上りに鏡に写った無精ひげ・・・面倒臭いと放っておいたら伸び、やっと気になったみたいで、お母ちゃんに、ついでついでで「ヒゲそってくれ〜」とお願いしてみたものの、当のお母ちゃんは電気シェーバーを上手く使いこなせず、イライラ始めた頃に娘が「ただいまあ」。すぐさまお助けマンとなり、お父ちゃんの傍らに参上というわけ・・・。そり残しチェックもクリアして、再度鏡を見てニヤリ。お父ちゃんは、パンツ一丁に四点杖と足の装具を持ち、車イスでそそくさと途中経過の野球観戦に戻ってひと休み。後片付けを済ませたお母ちゃんは、冷茶をくいと飲み干してひと休み。2人共に汗がひいた頃、「自分でやりゃ〜!」「こっちは出来んだろう〜バカヤロ〜が!!」と相変わらずのケンカ口調をくり返ししながらパジャマに着替えていました。

最近のお父ちゃんといえば、飲み物を飲むことまでも面倒臭がる始末。日中は車イスに座って過ごすか、四点杖を使って室内で歩行訓練するくらいであまり喉も渴かず、トイレも面倒だから・・・となかなか飲みません。これにはお母ちゃんも『どーするべかね・・・。』と、また思案しています。湯上りには、唯一お父ちゃんから「何か飲むもんくれ」と催促があるので、ここぞとばかりに「お茶」やら「コーヒー牛乳」を飲んでもらっているみたい。飲み物をなかなか口にしないお父ちゃん。最終的には、「今度倒れたら、これ以上の面倒は見れんからねー。」とお母ちゃんが脅しをかけると苦笑いしながら飲むらしい(笑)

ナイス家の畑



畑がすごいことになっています。野菜だか草だか見分けが付きません。そんな中、先日ジャガイモを掘り出しましたが、どなたか草取りをしませんかねえ〜。

～ 草取りボランティア に来ませんか?～

スタッフの独り言・・・

先月に引き続き竹田です。少〜し仕事にも慣れてきて(?),利用者さん1人1人ときちんと向き合えるようになってきた気がします。色々な過去・経歴を持ち、沢山の困難などを乗り越えてきた人生の先輩達。

子供の頃を思い出して話をしている時、顔には自然と笑顔がこぼれています。

そんな様子を見ていると、この仕事を選んで本当によかったなあと思います。

竹田 恵美子



編集後記・・・

厚生労働省の方針で、「要支援」と「要介護1」の人には原則“炊事・洗濯などの家事サービス”を利用対象から外し、全てのサービスを利用できる現状に制限をかける方向で話がすすんでいることがわかった。その代わりに、介護予防のためのメニューを新設するとか・・・。介護保険の負担と給付の膨張に歯止めをかける狙いとはいうものの、「今後の方向性」の記事内容には、いまだに現実とは程遠い机上の理論だけが持ち込まれている気がするのは私だけだろうか。炊事・洗濯を頼めるからこそ自立した生活を営めるひとが沢山いるはずだと思うが・・・。この手の話しにはついむきになってしまう(笑)